

第二回世田谷区本庁舎等整備に係る 区民利用施設総合運営計画検討委員会検討委員会 議事要旨			
開催日時	令和4年8月1日(月) 18:30~21:00	場所	世田谷区役所第一庁舎5階 庁議室
参加委員 (敬称略、 五十音順、 オンライン参加)	学識経験者	齋藤委員、曾田委員、福岡委員	
	団体	大坪委員、柴田委員、藤原委員、 <u>松田委員</u>	
	区民・学生	片切委員、古森委員、 <u>細川委員</u> 、松本委員、 <u>吉澤委員</u> 、和地委員	
	区職員	片桐委員、佐藤委員、清水委員	
欠席委員	なし		
	市民活動推進課(事務局)	片桐部長、榎本係長	
	世田谷総合支所 地域振興課	佐久間課長	
	庁舎管理担当課	桐山課長、伊藤係長	
	庁舎建設担当課	横川係長	
支援業務 受託者	(株)シアターワークショップ [®]	山下、東	
議題	(1) 第1回検討委員会での意見交換について (2) 区民交流スペースの設計への反映状況 (3) 事業・活動検討に基づき 区民利用施設の基本方針・目標を考えるワールドカフェ (4) 第1回ワークショップ検討内容 (5) 今後のスケジュール		

会議概要

- ・第2回会議として、前回要望のあった「区民交流スペースの運用に関する検討会提案書」の要望について、区民交流スペースの設計への反映状況を事務局より説明した。
- ・同様に前回要望のあった「アイデアを書き込んで気軽に活発な意見交換ができる方策」して、事前に委員へワークシートを送付し、取りまとめた上で、資料をもとに「事業・活動検討に基づき区民利用施設の基本方針・目標を考えるワールドカフェ」を行った。

会議内容

1 開会

2 議題

(1) 第1回検討委員会での意見交換について

- ・事務局より資料に基づいて説明。

(2) 区民交流スペースの設計への反映状況

- ・桐山庁舎管理担当課長より資料に基づいて説明。

[委員の主な関連意見]

- ・前回委員会で質問を出した NPO が発災後の集まる場所がないことについて、区民交流スペースは、発災後、そのような活用の検討の余地があるということか。
→ (区) 質問の内容を災害対策課に伝え、相談に応じることを確認した。

(3) 事業・活動検討に基づき区民利用施設の基本方針・目標を考えるワールドカフェ

- ・シアターワークショップより資料に基づいて説明。
- ・A (区民交流スペース・区民交流室)、B (区民会館・ラウンジ・エントランス・集会室・練習室)、C (広場・ピロティ・東棟屋上庭園) のグループに分かれ、ワールドカフェ形式で意見交換を行った。最後に各グループを代表して学識経験者の3名が検討内容を発表した。

[委員の主な関連意見]

- ・新しい人が常に区民利用施設の運営に参加でき、多様な人が関われるような仕組みがあり、実験的な運用を通じて、トライ・アンド・エラーをしながらアップデートしていく。
- ・区民92万人が利用者、または受益者であるような質の高い活動ができるような「自ら提案し、交流をデザインする」という文化や慣習を培う。
- ・広場や屋上庭園は最初にすべてを決めてしまうのではなく、色々な人たちが一緒に時間をかけて、育て、育み、作り上げていくような場所とする。

(4) 第1回ワークショップ検討内容

- ・事務局・シアターワークショップ山下より資料に基づいて説明。
- ・出された主な意見、質疑等と対応

[委員の主な関連意見]

- ・本検討委員会の議論の内容と、これから一般募集される方々のワークショップの内容は、どのようにリンクをする、あるいは9月のワークショップに本検討委員会の議論というのはいかにどのように反映されるのか。
→(事務局) 第1回区民ワークショップの冒頭で、本日の検討委員会で議論した内容をご説明する予定。また、そこで出たご意見について、第3回の検討委員会で委員の方にも報告する形になるので、相互に繋がっていく。本検討委員会と区民ワークショップで相互に内容を共有しながら、今後の基本方針・目標、事業活動計画に反映していく流れを想定している。
- ・区民ワークショップの参加者には、その次にフィードバックの機会もあるのか。
→(事務局) 区民ワークショップは、同じメンバーで3回実施し、2回目のワークショップの際に、検討委員会で話した内容等をフィードバックすることもできる。検討委員会と区民ワークショップは両輪で進んでいくことになる。
→両輪がうまく機能するだろうか。事務局においては、より有意義なあり方を検討し柔軟に対応してもらいたい。
- ・9月も対面で集まれるか分からないので、ワークショップはオンライン参加を中心として、オンラインの環境がない方にどこか場所を用意して、参加していただく形を検討してはどうか。

(5) 今後のスケジュール

- ・事務局・片桐生活文化政策部長より資料に基づいて説明。

以上